ISO 9001
認証取得

shindaiwa®

取扱説明書

背負式ヘッジトリマー

HTK231S

⚠注　意

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、内容をよく理解したうえでご使用ください。不適切な操作や保守は重大な事故につながるおそれがあります。なお、この取扱説明書はいつでも利用できるよう、大切に保管してください。

目　次

	ページ
1．安全にご使用いただくために	1
1－1　ご使用前に	2
1－2　給油	4
1－3　始動	5
1－4　作業	5
1－5　停止	7
1－6　点検・整備	7
1－7　移動・保管	8
1－8　バッテリー	9
2．各部の名称	10
3．仕様	12
4．組立の手順	13
4－1　外観と付属部品のチェック	13
4－2　フレキシブルケーブルとギヤケースの接続	13
4－3　フレキシブルケーブルとエンジンの取り付け	14
4－4　ハンドルの組み付け	15
4－5　スロットルケーブルの取り付け	15
4－6　キャブレタへの取り付け	15
4－7　スロットルケーブルの遊び調整	16
4－8　コネクターの接続	16
5．エンジンの始動と停止	17
5－1　燃料の給油	17
5－2　バッテリーの充電	18
5－3　エンジンの始動	19
5－4　始動困難なとき	22
5－5　停止	22
6．せん定、刈り込み作業	23
6－1　操作の方法	24
7．点検・整備	25
7－1　キャブレターの調整	25
7－2　日常の手入れ	26
7－3　20時間毎の手入れ	26
8．長期保管	31
9．故障の診断と処置	32
9－1　エンジンが始動しない場合	32
9－2　力がない場合	33
9－3　その他の故障	34
10．主な消耗品	35

はじめに

弊社ヘッジトリマーをご購入いただきありがとうございます。この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を十分理解し、安全に使用してください。この取扱説明書で分からないことがありましたらお求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

ヘッジトリマーは高速で往復する刃物（ブレード）で生垣や植込のせん定、刈り込みをする機械です。人的負傷、火災を予防するために安全を常に心がけてください。不注意または不適切な使用は重大な事故の原因になります。

シグナル用語の説明

この取扱説明書は次のシグナル用語を使用しています。

⚠危　険　**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。**

⚠警　告　**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。**

⚠注　意　**取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。**

1．安全にご使用いただくために

警告ラベルの説明



この取扱説明書をよくお読みください。



この機械を運転中は常に耳栓、保護メガネを着用してください。

1－1　ご使用前に

⚠危　険

■ 取扱説明書を読んでいない人や年少者（子供）にヘッジトリマーを使用させないでください。

■ 本機を他人に貸す時は、必ず取扱説明書を添付してください。

■ はじめてヘッジトリマーを使用する方は使用方法を販売店などからよく教わり、使用方法を十分習得してから使用してください。

■ 枝打ち草刈り作業など、せん定作業、刈り込み以外の用途に使用しないでください。

■ 作業中は石、金属やプラスチックなどにブレードを当てないでください。ブレードが破損、飛散し、危険です。

■ ブレードがフェンスやワイヤなどの硬いものに当ったときは、ただちにエンジンを停止し、ブレードに異常がないことを確認してください。異常がある場合はただちに新しいブレードに交換してください。

■ 曲がり、変形、クラック、破損の生じたブレードは廃却し、使用しないでください。

■ フロントハンドル・リヤハンドル・プロテクターが、しっかりと取り付けてあることを確認してください。

■ プロテクターなどの安全装置は絶対に取り外さないでください。

■ 作業する場合、ヘッジトリマーの５m以内に他の人、子供、動物がいないことを確認してください。誰かが近づいてきた場合は、エンジンを停止し、ブレードを止めてください。

■ エンジン始動時および運転時は絶対にブレードに手や足を近づけないでください。

■ 屋内などの換気の悪い場所では、決してヘッジトリマーを運転しないでください。排気ガスにより、ガス中毒をおこします。

■ 排気ガスを直接吸ったり、顔面等に直接当てないでください。

⚠警　告

■ 決してヘッジトリマーを勝手に改造しないでください。

■ 疲労、病気、酒気帯びの場合、または医薬品服用中の場合は作業を行わないでください。また作業中に体調が悪くなった場合にはすぐエンジンを止め、作業を中止してください。



■ 夜間および天候の悪いときは使用しないでください。

■ ヘッジトリマーの操作時間は 1 日 2 時間以内にとどめ、連続作業時間は30分以内とし、連続作業後 5 分以上休憩してください。振動障害をおこすおそれがあります。

■ 摩耗したブレードを使用しないでください。

■ 混合燃料を使用しますので、ヘッジトリマーのそばで喫煙やたき火をしないでください。火災発生のおそれがあります。

■ 作業前に燃料漏れがないか確認を行ってください。漏れがあった場合はただちに修理してください。

■ マフラーやマフラーから出る排気は非常に高温になりますので、燃えやすい物を近づけないでください。

■ 作業前にヘッジトリマーの点検を行ってください。この時、破損した部品は交換し、ネジの脱落やゆるみのないことを確認してください。

■ 必ず保護メガネをつけてください。

■ 必ず耳栓をつけてください。聴覚障害をおこすおそれがあります。

■ ヘッジトリマーを取り扱うときには、厚手で滑り止めのついた防振性のある手袋を着用して手を保護してください。

■ 裾のひらひらした服、アクセサリー類、ショートパンツ、サンダルなどを着用しないでください。頭髪は肩から下に垂れないように覆ってください。枝や機械の可動部にからまる危険性があります。

■ 靴は底に滑り止めのついた安全靴を使用してください。雨の日は、滑りやすいので作業をさけてください。



1－2　給油

⚠ 警　告

■ ガソリンと 2 サイクル専用オイルの混合および給油は、屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。給油はエンジンを停止し、エンジンが冷えた後にゆっくりと燃料キャップを外して行ってください。急に燃料キャップをはずすと燃料が吹き出すことがあります。

■ こぼれた燃料は本体から拭き取ってください。

■ 燃料の持ち運びや保管など、取扱いには十分注意してください。

1－3　始動

⚠ 警　告

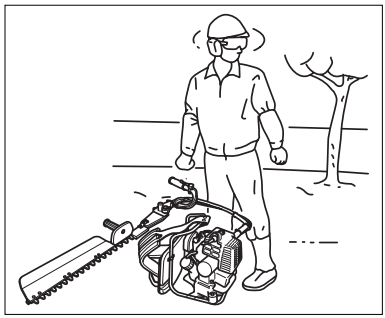
■ エンジンの始動は取扱説明書に従い、安定の良い場所で行ってください。

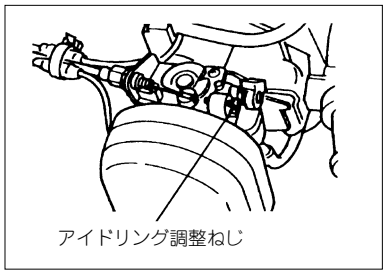
■ 始動時は周囲の安全を確認し、一人（補助者なし）で行ってください。

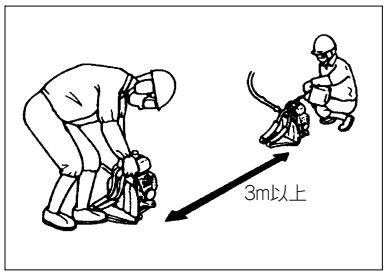
■ エンジンを始動する場合、ブレードが他の物体に接していないことを確認してください。エンジンを始動するとすぐにブレードが動きます。

■ エンジンがアイドリング時、ブレードが動いていないことを確認してください。アイドリング時、ブレードが動いていると危険です。アイドリング調整をして回転数を下げてください。

■ 漏れた燃料への引火防止のためエンジンの始動は、給油場所から 3 m以上離れた場所で行ってください。





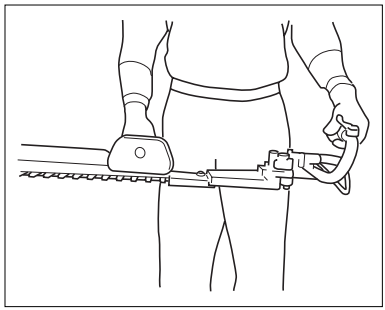


1－4　作業

⚠ 危　険

■ 他の作業者と上下で作業をしないでください。
物やヘッジトリマーが落下して重大な事故の原因となります。

⚠ 警　告



■ ヘッジトリマーを操作するときはフロントハンドルを右手、リヤハンドルを左手でしっかり握ってください。その他の部分は持たないでください。

■ エンジン運転中にエンジンを背負ったりおろしたりしないで下さい。不用意にブレードが動いてケガをする恐れがあります。

■ しっかりした足場の上で安定した姿勢で作業を行ってください。

■ 作業は原則として一人で行ってください。数人で作業する場合は 5 m以上の間隔をあけて作業してください。

■ ヘッジトリマーを使用している人に近づくときはお互いに合図を行い、エンジンを停止し、停止を確認した後に前から近づいてください。

■ ブレードにものがはさまったり、からまった場合はエンジンのスイッチを切り、ブレードが停止した後に、取り除いてください。

■ ヘッジトリマーを落としたり、何か異物に当てたときは、エンジンを止めて損傷の有無を調べてください。もし損傷があれば使用せず、すみやかに修理してください。

■ この取扱説明書の作業方法にしたがってせん定、刈り込み作業を行ってください。

■ 燃料キャップは休憩時に増し締めしてください。運転中に振動でゆるんでいる可能性があります。

■ 燃料が漏れた場合は、ただちにエンジンを停止して、火気を近づけないでください。

⚠注　意

■ 運転中または停止直後に高温部（マフラー、シリンダー、ギヤケースなど）に触れないでください。ヤケドをします。

■ せん定、刈り込み作業前には、ブレードの締付けボルトの点検をしてください。

1－5　停　止

⚠警　告

■ エンジン停止しても、ブレードはしばらく動いています。スイッチを切ってブレードが停止するのを確認したのち、エンジンをおろしてください。

1－6　点検・整備

⚠危　険

■ 点検・整備（掃除など）を行うときは必ずエンジンを停止し、ブレードが停止していることを確認してから行ってください。

⚠警　告

■ 混合燃料はたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のない所で行ってください。

■ 燃料キャップや燃料タンクおよびキャブレターなどから燃料漏れがないか定期的に確認してください。

■ 整備と修理を行うときは弊社純正部品を使用してください。他社の部品を使用すると重大な事故になる危険性があります。

■ 取扱説明書に記述がない整備や修理は行わないでください。そのような整備や修理はお求めの販売店かお近くの弊社営業所に依頼してください。

⚠注　意

■ 点検・整備・掃除などはエンジンが冷えてから行ってください。ヤケドのおそれがあります。

■ ブレードの点検や調整を行うときは、必ず手袋を着用してください。ブレードでけがをするおそれがあります。

1－7　移動・保管

⚠警　告

■ 移動時あるいは保管時にはエンジンを停止してください。また、ブレードにブレードカバーを装着してください、ブレードが人や物に当り危険です。

⚠注　意

■ 保管の際は、燃料漏れ、破損、ケガなどを防止するために、ヘッジトリマーを転倒しないように安定した場所に置いてください。

■ 年少者（子供）の手が届かない乾燥した冷暗所に保管してください。

■ 2～3日以上保管する場合は燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を空にしてください。

1－8　バッテリー

⚠ 危　険

■　バッテリーを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 火の中に投入したり、加熱しないでください。
- （十）と（ー）を針金などの金属で接続しないでください。
- バッテリーの充電には、必ず付属の専用充電器（品番：32003-93011）を使用してください。
- バッテリーを分解、改造、ハンダ付けしないでください。

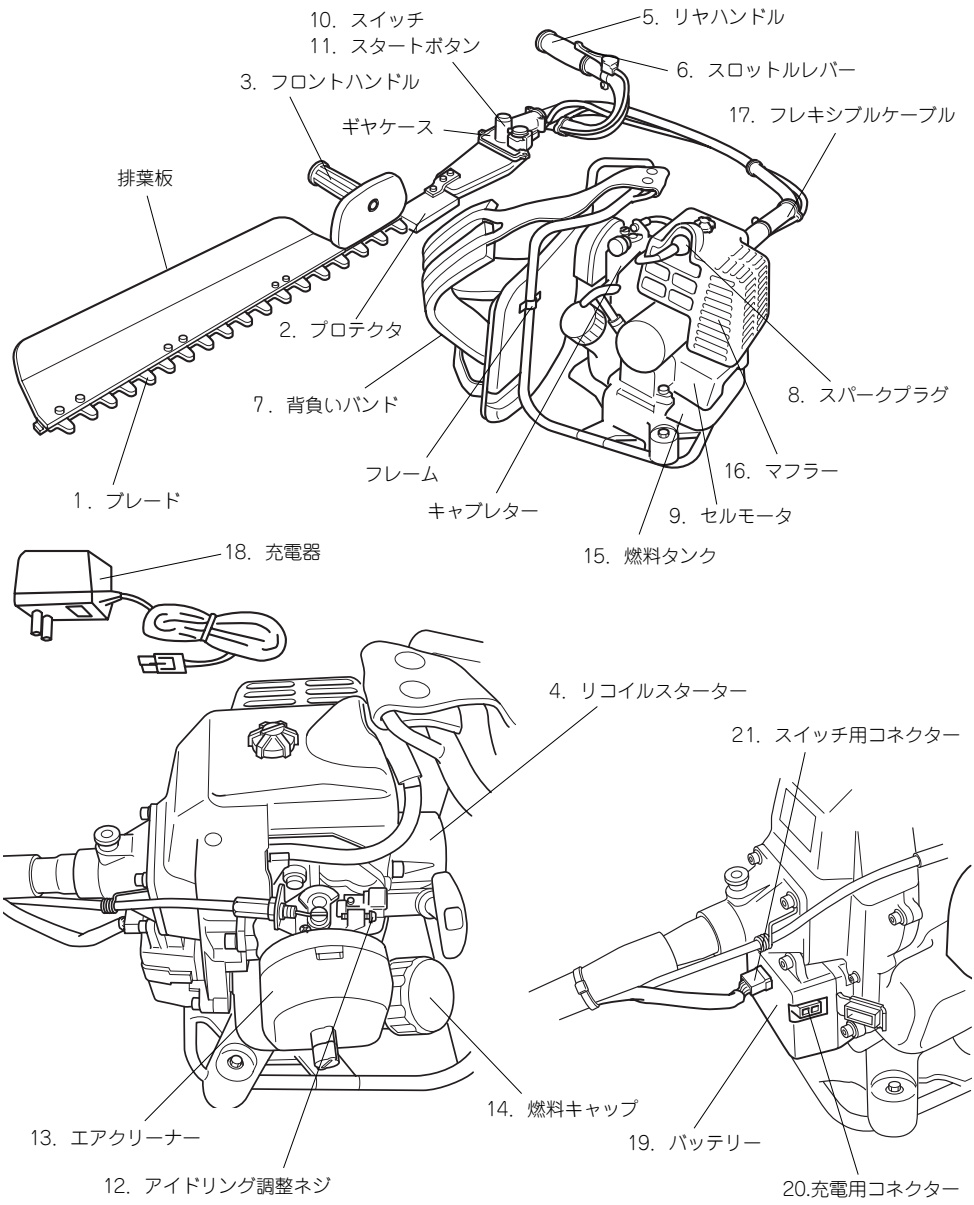
⚠ 警　告

■　バッテリーを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 水や海水につけたり、濡らさないでください。
- 液漏れ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは使用しないでください。
- 充電器で充電される場合、8時間を超えて充電しないでください。充電中はバッテリーが熱くなっていることがありますからご注意ください。
- 使用時間が極端に短くなったときはバッテリーの寿命ですから新しいバッテリーに交換してください。

⚠ 注　意

■　バッテリーが破損し、思わぬ事故の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 直射日光の当たるところや、炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など、高温の場所に放置しないでください。

2．各部名称


10．スイッチ
11．スタートボタン
5．リヤハンドル
6．スロットルレバー
3．フロントハンドル
17．フレキシブルケーブル
ギヤケース
排葉板
2．プロテクタ
7．背負いバンド
8．スパークプラグ
フレーム
16．マフラー
1．ブレード
キャブレター
9．セルモータ
15．燃料タンク
18．充電器
4．リコイルスターター
21．スイッチ用コネクター
14．燃料キャップ
19．バッテリー
13．エアクリーナー
12．アイドリング調整ネジ
20.充電用コネクター

No	名　　称	機　　能
1	ブレード	生け垣や植込を刈り込む刃物
2	プロテクター	手や足などがブレードに触れるのを防ぐものです。
3	フロントハンドル	せん定作業する時に握るハンドルです。
4	リコイルスターター	スターターノブを引いてエンジンを始動します。
5	リヤハンドル	せん定、刈り込み作業する時に握るハンドルです。
6	スロットルレバー	エンジン回転数を調節するために使用します。
7	背負いバンド	刈払機を背負うバンドで長さを調節して使用します。
8	スパークプラグ	混合気に点火するための部品です。
9	セルモーター	エンジンを始動させるためのモーターです。
10	スイッチ	スイッチを右側（ON）にするとエンジンを始動できる状態となります。スイッチを左側（OFF）にするとエンジンが停止します。
11	スタートボタン	セルモーターを回し、エンジンを自動で始動するスイッチです。
12	アイドリング調整ネジ	アイドリング回転数を調整します。
13	エアクリーナー	エンジンに吸引する空気のゴミを取り除くフィルターです。
14	燃料キャップ	燃料タンクのふたです。
15	燃料タンク	燃料を入れる容器です。
16	マフラー	排気音を減少させます。
17	フレキシブルケーブル	フレキシブルシャフトが入っている部分で自由に曲げることができます。
18	充電器	バッテリーを充電します。
19	バッテリー	セルモーターの駆動電源です。
20	充電用コネクター	バッテリーを充電するために充電器と接続するコネクターです。
21	スイッチ用コネクター	スイッチから出ているコネクターと接続するコネクターです。

3．仕様

項目 ＼ モデル名		HTK231S
本体乾燥質量		10.3（エンジ部　5.7　本体部　4.6）
外形寸法	エンジン（L×W×H）　mm	270×275×345
	操作部（L×W×H）　mm	1100×250×190
	フレキシブルケーブル全長　mm	1000
刈刃	全　長　mm	740
	ピッチ　mm	35
	往復回数　回/sec	34.1（10000min^{-1}時）
エンジン	名　称	SHTK231S
	形　式	強制空冷 2 サイクルガソリンエンジン
	排気量　ml{cc}	22.5
	使用燃料	(ガソリン)25:(2サイクル専用オイル)1
	点火方式	電子点火方式
	点火プラグ	チャンピオンCJ8Y
	始動方式	セルスタータ・リコイルスタータ併用
	キャブレタ	ダイヤフラム式
	フーエルタンク　L	1.0
動力伝達方式	クラッチ方式	乾自動遠心クラッチ
	減速装置	歯車
	減速比	1：4.89
	潤滑方式	グリース潤滑
標準装置		エンジンマウント防振装置 排葉板（プレート） 刈刃カバー 付属工具一式 100Ｖ充電器（8時間充電　LED付）
オプション		刈ならし刃

※本仕様は予告なく変更することがあります。

4．組立の手順

⚠注　意

■　ボルトは必ず付属の六角レンチを使用し、手で締め付けてください。

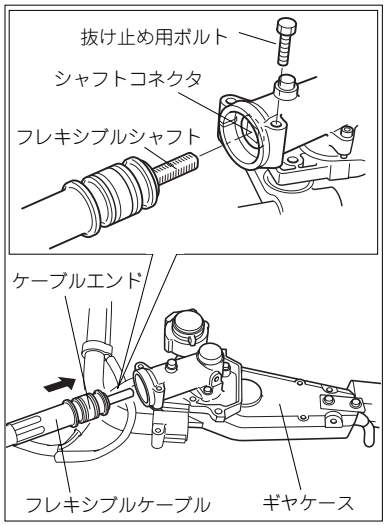
4－1　外観と付属部品のチェック

この製品は工場出荷の際、厳重な検査を行っておりますが、念のためにこの製品の損傷やボルト、ナット類のゆるみなどがないか点検してください。また、付属部品の欠品がないか点検してください。

もし、点検の結果、異常や欠品があった場合はただちにお求めの販売店か弊社営業所へご連絡ください。

4－2　フレキシブルケーブルとギヤケースの接続

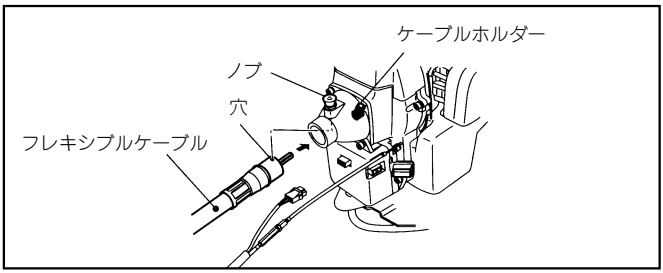
① フレキシブルケーブルの抜け止め用ボルトを取り外します。
② ギヤケースにフレキシブルケーブルを差し込みます。この際フレキシブルシャフトとシャフトコネクタをかみ合わせてから、ケーブルエンドを奥に突当たるまで差込みます。
③ フレキシブルケーブル抜け止め用ボルトをギヤケースに取付け締付けます。



締付後、必ずフレキシブルケーブルを引張り抜けないことを確認してください。

4－3　フレキシブルケーブルとエンジンの取り付け

① エンジンにフレキシブルケーブルの穴側を差し込んでください。



⚠注　意

■　差込時にはエンジン、ギヤケース、フレキシブルケーブルがまっすっぐになるように置き、フレキシブルケーブルを少し回しながら差し込むと楽に入ります。

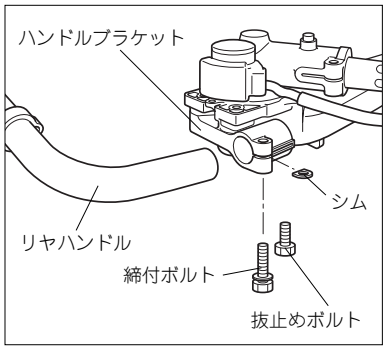
② 奥まで差し込んだら、フレキシブルケーブルを回しノブを穴に入れてロックしてください。

⚠注　意

■　フレキシブルケーブルを引張りエンジン側のノブとギアケースのスクリューがフレキシブルケーブルの溝に入って抜けないことを確認してください。

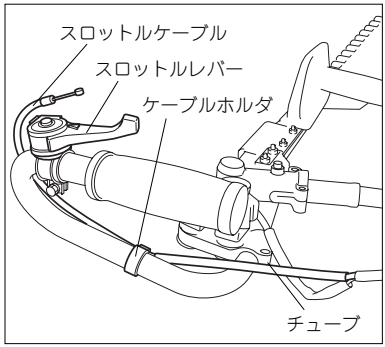
4－4　ハンドルの組み付け

① リヤハンドルをハンドルブラケットに差し込みます。
② リヤハンドルとハンドルブラケットの抜け止め穴を合わせ抜け止めボルトを取付けます。
③ シムがすり割りに入っていることを確認し、締付けボルトをしめつけます。



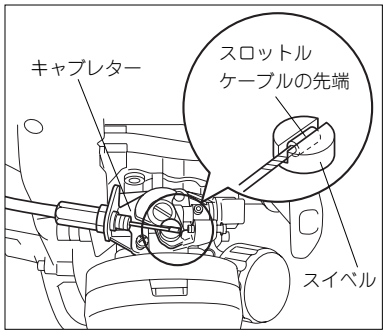
4－5　スロットルケーブルの取り付け

スロットルレバーへの取り付け
① スロットルケーブルへ同梱してあるチューブを取り付けます。
② スロットルケーブルをケーブルホルダの穴に通し、スロットルレバーに取り付けます。



4－6　キャブレタへの取り付け

① スロットルケーブルをキャブレターのスイベルに取り付けてください。

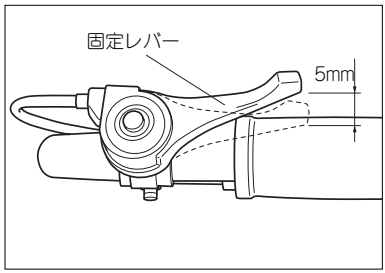


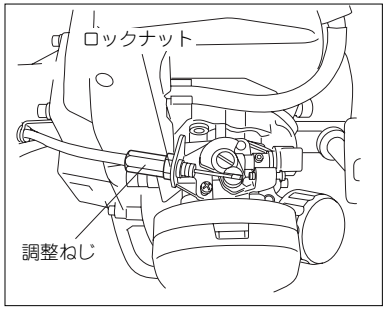
4－7　スロットルケーブルの遊び調整

① スロットルレバー先端の遊びが 5 ㎜程度あるかどうか確認してください。
② 遊びの距離が長い場合または短い場合はキャブレター部のロックナットをゆるめ、調整ねじを移動させながら遊びの距離を調整してください。

調整ねじを ｛右に回すと→遊びが長くなる。
　　｛左に回すと→遊びが短くなる。

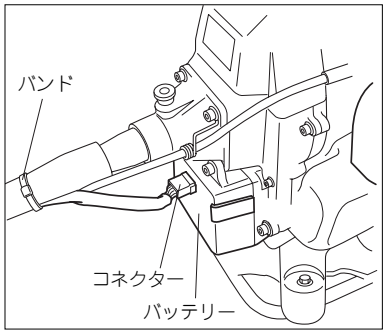
③ 遊びの距離が 5 ㎜程度に調整できたら、ロックナットで調整ねじを固定してください。





4－8　コネクターの接続

① コネクターとバッテリーを接続してください。このとき、コネクタのフックがかかるまで差し込んでください。
② コネクタの接続後同梱してあるバンドで、スロットルケーブルとフレキシブルパイプに締付けてください。



5. エンジンの始動と停止

5－1　燃料の給油

⚠警　告

- **給油は屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。**
- **平らな場所で給油してください。**

（1）燃料

燃料は必ず、無鉛ガソリン25に対して2サイクル専用オイル1の割合で混合した混合燃料を使用してください。燃料の混合は安全容器にオイルを先に入れ、後からガソリンを加えてください。

無鉛ガソリン（ℓ）	2サイクル専用オイル（cc）
1	40
4	160
8	320

（2）給油

⚠注　意

- **異物やゴミをタンク内に入れないために、燃料を補給する前にキャップのまわりをよく掃除してください。**
- **燃料は常に新しい物を使用してください。2～4カ月以上保存したり、異物が混入した燃料を使用すると故障の原因となります。**

① 給油する前に燃料をよく混合してください。
② 燃料タンクの燃料キャップをゆっくりと外し、燃料を給油してください。
③ 給油後は確実に燃料キャップを締め、燃料タンクから燃料漏れのないことを確認してください。

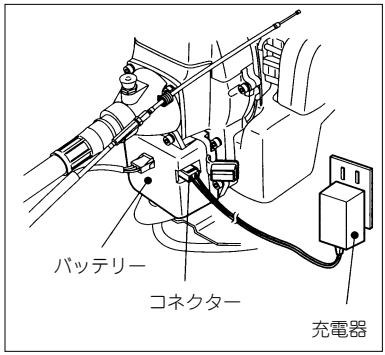
5－2　バッテリーの充電

⚠ 警　告

- **充電器は付属以外のものを使用しないでください。**
- **充電は温度の高い場所や湿度の高い場所ではしないでください。**
- **8時間以上の長時間充電はしないでください。バッテリーの寿命が低下するとともに、さらには、加熱するおそれがあります。**

① 初めて使用する場合は、使用前にバッテリーを充電してください。また、セルモーターの力が弱くなったときや長時間保管の後もバッテリーの充電を行ってください。

② 充電は必ず付属の充電器を使用し、バッテリーの充電用コネクターと充電器のコネクターを接続し、ご家庭のコンセント（AC100V）にて8時間充電してください。



③ 充電が終わったら、まずコンセントを外してコネクターを外してください。外すときはコードを引っ張らずに必ずコネクターを持って外してください。

④ エンジン運転中は自動的にバッテリーが充電されます。

5－3　エンジンの始動

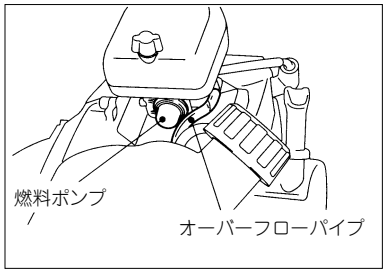
⚠警　告

- **エンジンを始動する時、ブレードが地面や他の物体に接触していないことを確認してください。また、そばに他の人がいないことを確認してください。始動後すぐにブレードが動き危険です。**
- **背負って始動する前に、必ずエンジンを地上においた状態でエンジンを始動し、エンジンの調子を整えてください。その上でエンジンを停止し背負ってから始動してください。**

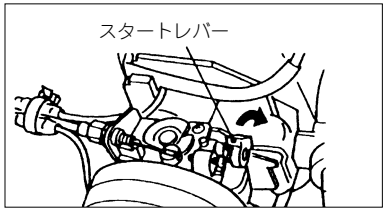
1．セルスターターによる始動方法

（a）エンジンが冷えているとき

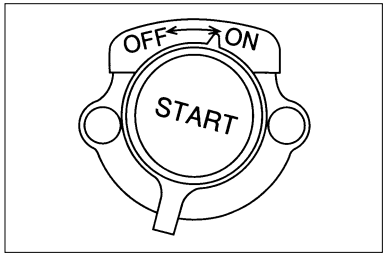
① キャブレターの下に付いている燃料ポンプ（透明の半円形）を数回押し、オーバーフローパイプに燃料が流れはじめ、泡が少なくなったらやめてください。



② スタートレバーを矢印の方向に倒してください。



③ スイッチを「ON」にしてください。



④ スタートボタンを押してください（2秒以上押し続けないでください)。エンジンが始動したら、スタートボタンから指を離してください。
⑤ エンジン始動後、スロットルレバーを全開まで引いてすぐ戻してください。この操作によりチョークが解除されます。
⑥ 始動したら2～3分アイドリング状態で暖気運転してください。アイドリングとは、スロットルレバーが完全に戻っている状態のことです。

（b）エンジンが暖まっているとき
③→④→⑥の順序で始動してください。

2．リコイルスターターによる始動方法

⚠注　意

■　始動時にリコイルスターターのロープを最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。リコイルスターターを急に離さないでください。正しく巻き込まれないことがあります。

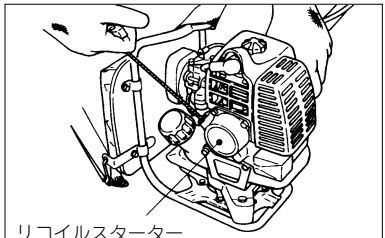
（a）エンジンが冷えているとき

① キャブレターの下に付いている燃料ポンプ（透明の半円形）を数回押し、オーバーフローパイプに燃料が流れはじめ、泡が少なくなったらやめてください。

② スタートレバーを矢印の方向に倒して下さい。

③ スイッチを「ON」にしてください。

④ このヘッジトリマを足場のしっかりした平地に置き、図のように左手でエンジンを押えて、リコイルスターターを引いてください。つめがかかるまではゆっくり引き、かかって重くなった位置から強く引いてください。


リコイルスターター

⑤ 爆発音がしたら、スロットルレバーを全開まで引いてすぐに戻してください。

⑥ 再びリコイルスターターを引いてください。始動したら 2 ～ 3 分アイドリング状態で暖機運転してください。

（b）エンジンが暖まっているとき

③→④→⑥の順序で始動してください。

5－4　始動困難なとき

エンジンが暖まっている状態で始動しないときは、エンジンが冷えている場合と同じ方法で始動してみてください。それでも始動しない場合、またはエンジンが冷えた状態で始動しない場合は次の操作をおこなってください。

① スイッチを「OFF」にしてください。
② スパークプラグをプラグレンチで外し、スパークプラグの電極部が濡れているかどうか調べてください。
③ スパークプラグが濡れている場合はスパークプラグを乾燥させてください。スパークプラグを抜き取った状態でリコイルスターターを引き、数回空転させて燃料をシリンダ内から追い出してください。

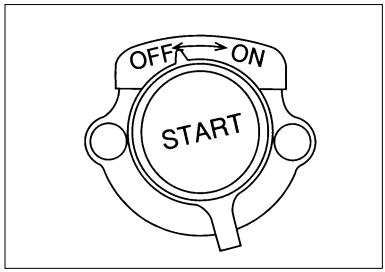
⚠注　意

■　火気を近づけないでください。火災の原因となります。

④ スパークプラグを付属のプラグレンチで確実に取り付け、プラグキャップをつなぎます。エンジンが暖まっている場合の方法で始動してください。
⑤ スパークプラグが濡れていない場合は燃料タンクから燃料が届いていないので、燃料フィルターやキャブレターを点検する必要があります。7－3 項の点検をするか、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

5－5　停止

エンジンを停止させるときは、スロットルレバーを戻し 2 ～ 3 分間アイドリング運転をしてからスイッチを「OFF」にしてください。



6．せん定、刈り込み作業

⚠危　険

他の作業者と上下で作業をしないでください。
物やヘッジトリマーが落下して重大な事故の原因となります。

⚠警　告

- ■ ヘッジトリマーを運転中は常に保護メガネ、耳栓、手袋を着用してください。
- ■ 使用中、ブレードに何か噛み込んで動きが止まっても、エンジンは回転し続けます。
  この場合、必ずエンジンを停止してから取り除いてください。
- ■ ヘッジトリマーを操作するときはフロントハンドルを右手、リヤハンドルを左手でしっかり握ってください。ブレードが動いている時は、絶対にハンドルから手を離さないでください。
- ■ エンジン運転中にエンジンを背負ったり、おろしたりしないでください。
  不用意にブレードが動いてケガをする恐れがあります。

⚠注　意

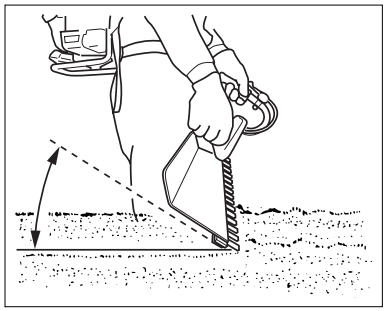
直径15mm程度までの太い枝を切ることは可能ですが、刃の破損及び駆動系の寿命を短くしますので、無理な作業はできるだけ避けてください。

6－1　操作の方法

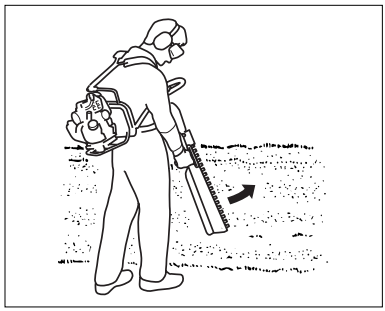
① エンジン始動後、スロットルレバーを開くと、エンジンの回転速度が上がり、ブレードが動き始めます。
作業に応じてスロットルレバーを動かして回転速度を調節してください。

② 生垣などの上の方を刈るときは、ブレードを左右へ動かしながら刈り込みます。ブレードをわずかに下へ向けながら動かすと、刈りそろえがうまくできます。排葉板の上に落ちた葉などを生垣の中に落とさないように刈り込んでください。





③ 横側を刈るときは、ブレードを下から上へ動かしながら刈り込むと、刈りそろえがうまくできます。



7．点検・整備

⚠警　告

■ **ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備が風通しのよい火気のないところで行ってください。**

■ **点検・整備は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。**

7－1　キャブレターの調整

キャブレターは工場出荷時に調整してありますので、調整の必要はありません。気圧、気候、燃料の違い、10時間以上の使用による状態変化等により、調整が必要になったときのみに行ってください。

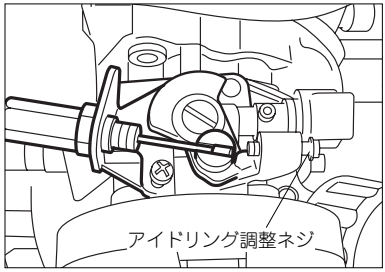
エンジンを始動し、2～3分間の暖機運転の後、次の手順で調整してください。また、エアクリーナーが汚れている場合は掃除してから行ってください。

⚠危　険

■ **刈刃の周辺に人または干渉物がないことを確認して行ってください。アイドリング調整ネジの調整時、低速と高速の回転調整時には刈刃が回転します。**

（1）アイドリングの回転調整

アイドリング時には刈刃が回転しないようにアイドリング調整ネジでエンジン回転を下げます。またエンジンが安定して回転するように調整してください。アイドリングの回転数は、3000±250min^{-1}です。

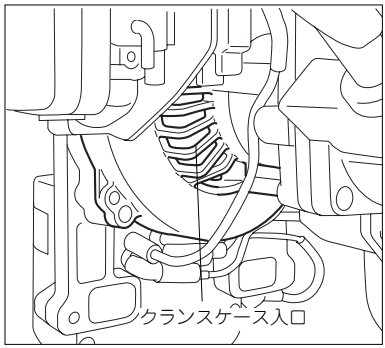


アイドリング調整ねじを［右に回すと→回転が速くなる。
左に回すと→回転が遅くなる。

⚠注　意

■ 不調の場合は、当社指定販売店に調整を依頼してください。

7－2　日常の手入れ



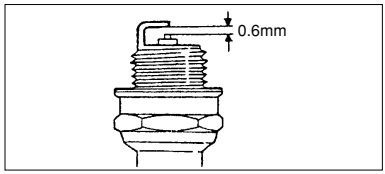
1．ヘッジトリマー全体の枝葉やホコリを取除いてください。特に冷却空気の入口や出口部分、エアクリーナー部分の付着物に気をつけてください。
2．各締付部のゆるみ、あるいは部品の脱落がないかをよく調べてください。特にブレードの締付けボルトが緩んでいないか、確認してください。
3．燃料やグリースのもれがないか点検してください。
4．ブレードには、燃料補給ごとにオイルまたは、マシン油を油差しなどで注油してください。
ブレードのオイルが不足すると切れ味が悪くなります。
5．雨水等で濡れたブレード部を上向にしたまま、置かないでください。ギヤケース内に水が入り込んで錆びる原因になります。

7－3　20時間毎の手入れ

⚠注　意

スパークプラグを取扱う場合は、エンジンが十分冷えてから行ってください。やけどするおそれがあります。

1．スパークプラグの点検



① プラグキャップを外し、スパークプラグを付属のプラグレンチで外してください。

② ワイヤブラシでスパークプラグの汚れを落してください。必要なら電極間すきまを調整してください。

■ **正しいすきまは0.6mm（官製はがき3枚の厚さ）です。**
■ **調整がうまくできない場合は、販売店か弊社営業所に依頼してください。**

③ スパークプラグを締め付け、プラグキャップをしっかりと奥まで取り付けてください。

⚠注　意

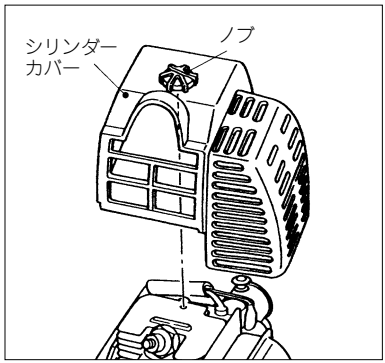
■ 約100時間運転後、または電極の腐食がひどい場合はスパークプラグを交換してください。スパークプラグはチャンピオン製CJ8Yをご使用ください。

2．シリンダーフィンの掃除

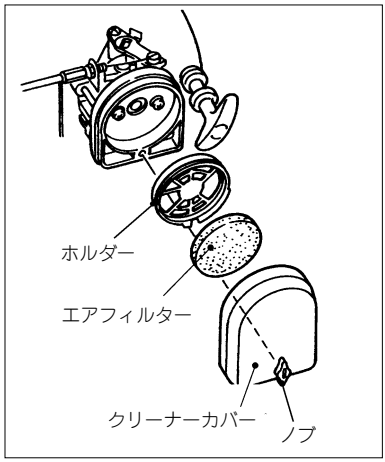
⚠警　告

■ **シリンダーフィンの汚れや草のつまりはエンジンのオーバーヒート、焼き付きや火災の原因となりますので定期的に点検、掃除してください。**

① シリンダーカバーのノブをゆるめシリンダーカバーをはずしてください。
② シリンダーフィンやシリンダーカバー等に付着している草やほこりを取り除いてください。
③ 掃除後はシリンダーカバーを組み付けノブを確実に締め付けてください。

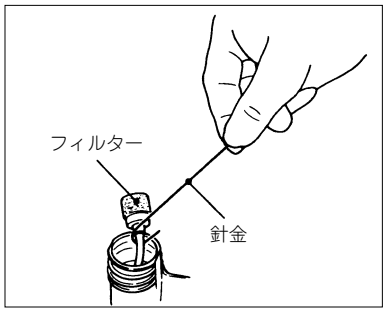


3．エアクリーナーの掃除



① クリーナーカバーのノブをゆるめて、クリーナーカバーをはずしてください。
② エアフィルターを取り出してください。
③ エアフィルターをガソリンでよく洗い、絞ってから取り付けてください。
④ クリーナーカバーを取り付け、ノブを締め付けてください。

4．燃料フィルターの掃除

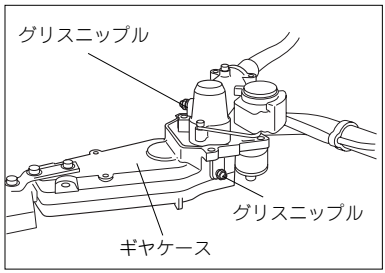


① 燃料タンク内燃料をすべて抜いてください。
② 燃料注入口から針金のフックでフィルターを引き出し、先端のフィルターを取り外してガソリンでよく洗ってください。
③ 組立前に燃料パイプを点検し、もし傷ついていたり破損した場合は新品に交換してください。
④ 洗浄後、燃料パイプが折れないようにして、燃料フィルターを燃料注入口から燃料タンク内に戻してください。このとき、燃料フィルターが燃料タンクの底についていることを確認してください。

5．ギヤケースへのグリース補給

右図のグリスニップルを清掃してからグリスポンプを使用して、弊社純正グリース（リチュウム系）を注入して下さい。

※　指定以外のグリースを使用すると故障の原因になります。

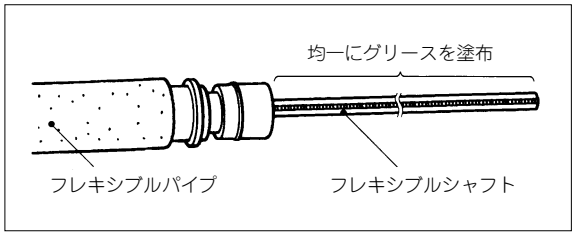


6．フレキシブルシャフトのグリース補給

①　「4－3　フレキシブルパイプとエンジンの取付け」の逆の手順でフレキシブルパイプをエンジンから取り外します。

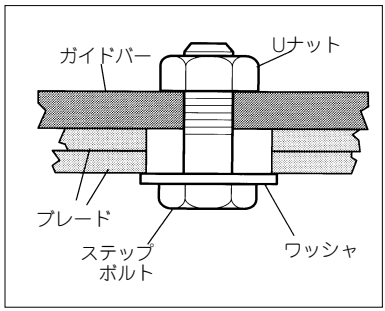
②　フレキシブルパイプからフレキシブルシャフトを取り出します。

③　フレキシブルシャフトにグリースを塗布してください。



7．ブレードのすきま調整

常に切れ味を良く保つためにブレードのすきまを調整方式にしています。すきま調整はブレード締付スクリュ（ステップボルト）をいっぱいに締め込んだ位置からスクリュを半回転程戻してからナット（Uナット）でロックしてください。



※　ブレードのワッシャが手で軽く回ることを確めてください。

・すきまが広い場合
切れ味が悪くなります。

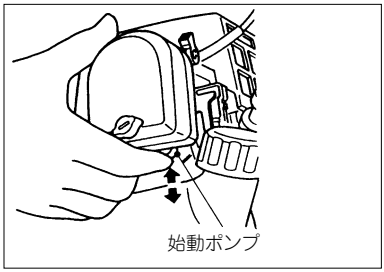
・すきまが狭い場合
カッターが動かなくなる。またブレードが焼き付くことがあります。

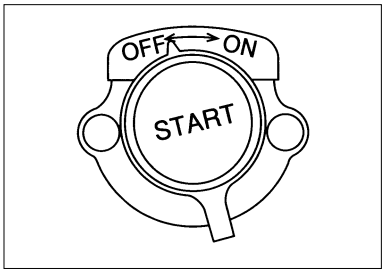
※　ブレードが摩耗した時は、販売店で目立て又は交換してください。

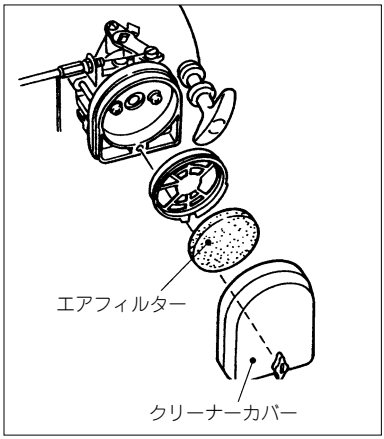
8．長期保管

次の手順に従って保管してください。

① 各部を十分に掃除してください。
② 点検・整備の項を参考にして点検・整備を行ってください。
③ 燃料タンクの燃料を排出してください。
④ エンジンを始動し、キャブレター内に残った燃料を使い切ってエンジンが停止するまで低速で運転してください。
⑤ エンジン停止後、必ずスイッチを「OFF」の位置にしてください。
⑥ スパークプラグを外し、スパークプラグ穴から少量のオイルをシリンダー内に流し込み、オイルがゆきわたるように 2 ～ 3 回リコイルスターターを引いてください。
⑦ スパークプラグをもと通りに取り付けてください。
⑧ クリーナーカバーを外して、エアフィルターを掃除して元どおりに取り付けてください。
⑨ 乾燥した火気のない冷暗所に保管してください。







⚠ 注　意

■ **燃料タンク、フューエルパイプ、キャブレターの中に燃料が残った状態で長期保管をしないでください。燃料が変質します。**

9．故障の診断と処置

9－1　エンジンが始動しない場合

区　　分		原　　因	処　　置	参照ページ
セルモーター	力が弱い	・バッテリーが放電気味	充電する。またはリコイルスターターで始動	18
		・バッテリーの寿命による劣化	バッテリーを交換	
	全く回らない	・バッタリーが放電している	充電する。またはリコイルスターターで始動	18
		・スイッチの故障	交換	
		・コードの断線	交換	
		・コネクターのはずれ	コネクターを接続する	
		・コネクターの接触不良	コードを交換	
セルモーターは廻るがエンジンが回転しない		・ギヤの摩耗	交換	—
		・クラッチの滑り	洗浄して新しいグリースをつけるまたはクラッチギヤを交換	
		・ピストン焼き付き	販売店で修理	
圧縮が弱い		・スパークプラグの緩み	締め付け、再始動	26
		・シリンダ、ピストン、ピストンリングの摩耗	販売店で修理	—
燃料の不良		・燃料の変質	新しい混合ガソリンを入れ替える	17
キャブレターに燃料が来ない		・燃料フィルターのつまり	燃料フィルターを掃除する	
		・燃料パイプの破損	販売店で修理	—
スパークプラグが発火しない		・マグネトの不良	販売店で修理	—
スパークプラグの点検		・スパークプラグが濡れている	スパークプラグを乾燥させ、リコイルスターターを数回引いてシリンダー内の燃料を排出し、再始動	28
		・スパークプラグにカーボンたい積	掃除または交換	26
		・スパークプラグすきま不良	0.6mmに調整	27
		・スパークプラグが損傷または種類が違う	新しいスパークプラグCJ8Yに交換	27

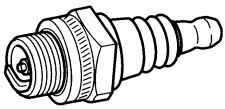
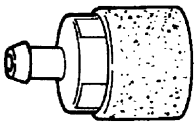
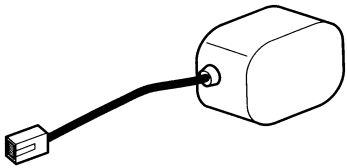
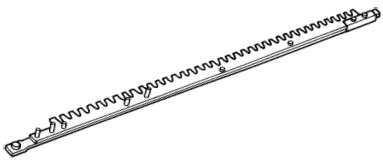
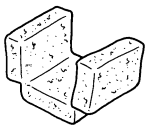
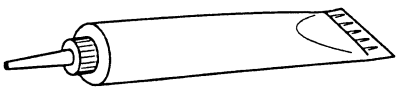
9－2　力がない場合

区　　分	原　　因	処　　置	参照ページ
エンジンの加熱	・長時間の過負荷使用	ゆっくり切断する	—
	・キャブレターの不良	販売店で修理	—
	・燃料混合比不良	正しい混合比の燃料を給油する	17
	・シリンダーフィンにゴミが付着	ゴミ掃除	27
	・シリンダー内､ピストンマフラー内カーボンたい積	販売店で修理	—
エンジンの回転むら	・エアフィルターの目づまり	エアフィルターの掃除	28
	・スパークプラグの締め付けがゆるいまたは不良	締め付けるまたは交換	26
	・燃料フィルター､パイプのつまりまたはエア混入	掃除または交換	28
	・燃料に水の混入	燃料交換	17
	・ピストン焼き付き	販売店で修理	—
	・キャブレター不良	販売店で修理	—
ノッキング	・エンジンの加熱	上記参照	—
	・燃料不良	燃料交換	17
	・燃焼室にカーボンがたい積	販売店で修理	—

9－3　その他の故障

区　　分	原　　因	処　　置	参照ページ
加速不良	・エアフィルター目詰まり	清掃	28
	・燃料フィルター目づまり	販売店で修理	—
	・アイドリング回転数が低い	アイドリング調整ねじで調整	25
	・ブレードのすきま調整不良	ブレードのすきま再調整	30
運転中にエンジン停止	・燃料の欠乏	燃料給油	17
	・燃料フィルター目づまり	販売店で修理	—
	・燃料に水の混入	燃料交換	17
	・スパークプラグのカーボン付着による短絡	清掃	26
	・プラグキャップの抜け	確実に取付ける	27
	・電装部品故障	販売店で修理	—
	・ピストン焼き付き		
エンジン停止困難	・スイッチ故障	販売店で修理	—
	・アース線の断線		
	・エンジン過熱	アイドリングにして冷却	—
エンジンの回転を下げてもブレードが止まらない	・クラッチ故障	販売店修理	—
	・アイドリング回転数高い	アイドリング調整ねじで調整	25
エンジンの回転を上げてもブレードが動かない	・ギヤケース・クラッチの故障	販売店で修理	—
	・ブレードの破損		
	・ブレードの締めすぎ	ブレードのすきま調整	30
ブレードの切れ味が悪い	・ブレードの刃部が摩耗している	販売店でブレードの目立て又は交換	—
	・ブレードのすきま調整が悪い	ブレードのすきま調整	30

10. 主な消耗品

スパークプラグ	
フューエルフィルター	
バッテリー	
エアフィルター	
ブレード	
フィルタ	
グリース	

株式会社やまびこ

〒198-8760 **東京都青梅市末広町 1-7-2**　　**Tel 0428-32-6181**

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

やまびこレンテックス株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6777（代）

やまびこ産業機械株式会社
〒731-3167　広島市安佐南区大塚西6丁目2-11　　Tel 082-849-2005（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750 285-070 0

(C) 2010 **株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。**